

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 27年3月 10日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (3/10 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h	15.4	4.3 kPa g	A系： 0.03 vol%
		給水系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.03 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h	20.8	5.97 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.00 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h	18.1	0.22 kPa g	A系： 0.05 vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.06 vol%

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (3/10 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	14.0
2号機	循環冷却システム	運転中	27.3
3号機	循環冷却システム	運転中	21.9
4号機	循環冷却システム	運転中	9.0

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	3/2 10:25 ~ 移送実施中

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (3/10 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	停止中 <sup>*1</sup>	運転中 <sup>*1</sup>	水バランスを みて断続運 転	水バランスを みて断続運 転	ホット試験中 <sup>*2</sup>	ホット試験中 <sup>*2</sup>	ホット試験中 <sup>*2</sup>

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

\*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## < 5. その他 >

- ・H27/2/5 ~ 3号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。
- ・H27/2/14 ~ 4号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。
- ・H27/2/24 ~ 2号機海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を開始。
- ・H26/6/2 ~ 陸側遮水壁工事を開始。

- ・H27/3/10 6:24 頃 当社社員によるタンクパトロールにおいて、H4・H4北・H4東エリア内周堰外側の外周堰に溜まった雨水の水位が以下の通り低下していることを確認。  
各タンクエリアの外周堰の止水弁(排水弁)は降雨時に溜まった雨水を排水するため通常「開」運用としているが、当該タンクエリアについては、外周堰に比較的高い放射能濃度の溜まり水が確認されたことから、外周堰内の水を回収するとともに、念のため当該堰の止水弁を閉としていた。

< 当該堰内水位 >

3/9 22:30 15cm

3/10 6:24 10cm、8:15 7cm

当該外周堰内水位の低下は現在も継続しているが、この堰の内側にあるH4北・H4東エリア内周堰内の水位に低下がないこと、当該外周堰の東側にあるB排水路への流れ込みがないこと、構内側溝排水放射線モニタの指示値に有意な変動がないことを確認。

当該外周堰内の低下した水量は、3/9 22:30 から3/10 8:15 にかけて低下した水位と当該外周堰床部の面積から約 400t と推定。現在、漏えい状況及び原因等を調査中。

< 当該外周堰内雨水 >

セシウム 134: 検出限界値未満(検出限界値: 11Bq/L)

セシウム 137: 検出限界値未満(検出限界値: 17Bq/L)

ストロンチウム 90: 約 100Bq/L 超過(簡易分析)

- ・H27/2/22 10:00 頃 構内側溝排水放射線モニタ「高」警報が発生。その後、10:10 頃、構内側溝排水放射線モニタ「高高」警報が発生。10:20、当該放射線モニタの指示値については、以下のとおり。

・A系:  $5.05 \times 10^3$  Bq/L (全ベータ)

・B系:  $5.63 \times 10^3$  Bq/L (全ベータ)

10:25、全汚染水タンクエリアの止水弁が「閉」となっていること、10:30、全汚染水タンクの水位に有意な変動がないことを確認。

- 11:00 頃 採取した当該排水路の分析結果について

< る過前 >

・セシウム 134: 4Bq/L (お知らせ済み)

・セシウム 137: 11Bq/L (お知らせ済み)

・全ベータ:  $3.8 \times 10^3$  Bq/L

・トリチウム: 5Bq/L

・ストロンチウム 90:  $1.6 \times 10^3$  Bq/L

< る過\*1後 >

・セシウム 134: 検出限界値未満(6.4Bq/L) \*2

・セシウム 137: 検出限界値未満(9.9Bq/L) \*2

・全ベータ:  $1.5 \times 10^3$  Bq/L

・トリチウム: 5.2Bq/L

・ストロンチウム 90:  $1.5 \times 10^3$  Bq/L

\*1 0.45 μm のフィルタによるろ過

\*2 る過後のセシウム分析は、試料量が少なく検出限界値が高いため、参考値。

排水路、排水路出口および港湾内のサンプリングを実施するとともに、警報発生の原因について引き続き調査を実施。

**[地下水バイパス揚水井の状況]**

- ・地下水バイパス揚水井 No.1 ~ 12 のサンプリングを継続実施中。

**【H4, H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】**

**< H4エリア周辺のサンプリング実績 >**

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**< 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >**

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**< H6エリア周辺のサンプリング実績 >**

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況】**

**< 地下水観測孔サンプリング実績 >**

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】**

**< 地下貯水槽サンプリング実績 >**

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上